

物流論	現代の物流における基本的な諸問題について解説する。	現代の物流における基本的な諸問題について理解し、問題点について説明できる。								◎		
国際関係論	現在のわが国にかかわる国際関係における基本的な諸問題について解説する。	現在のわが国に関わる国際関係における基本的な諸問題について理解し、問題点について説明できる。									◎	
国際関係論(旧)	現在のわが国にかかわる国際関係における基本的な諸問題について解説する。	現在のわが国に関わる国際関係における基本的な諸問題について理解し、問題点について説明できる。									◎	
現代世界経済論	現代世界経済の基礎的諸問題について理解	学生が世界経済について、問題の所在を理解し、代表的見解についての知識を持つこと。	◎	◎	○				◎	○	○	
開発とジェンダー	1. 「ジェンダーの視角」から女性が「開発」や「経済発展」にどのように動員されてきたかを見る。 2. 「ジェンダーの視角」から「開発と貧困」の問題を新たに捉えなおす。	1. 「ジェンダーの視角」から女性が「開発」や「経済発展」にどのように動員されてきたかを見る。 2. 「ジェンダーの視角」から「開発と貧困」の問題を新たに捉えなおす。	◎	◎	○				◎	◎	◎	
韓国経済論	1. 1960年代後半以降の韓国経済の発展メカニズムを国内的条件・国際的條件 2. 開発政策を通じた強力な国家の役割 3. 経済危機以降の東アジアの就業体制及び社会福祉体制の日韓比較	1. 韓国の経済発展メカニズムの理解 2. 韓国の社会福祉体制の歴史的・構造的な理解。	◎	◎	○				◎	◎	◎	
東アジア経済論	1. 東アジア経済は、どのように発展してきたのかを解説する。 2. 東アジア経済の発展は、日本経済や日本企業とどのような関係にあるのかを概説する。	1. 東アジア経済についての基本的な特徴を理解する。 2. 日本と東アジアの経済的な結びつきを理解する。 3. 地域経済の分析に必要な統計数値とその読み方について学ぶ。	1. ◎ 2. ◎ 3. ◎				3. ○		1. ◎ 2. ◎			
国際地域統合論	1. 現在の世界経済の特徴である自由貿易協定、地域協定の締結の動きについて概説する。 2. 現在のグローバル経済の力学関係を説明する。	1. 地域主義という現代世界経済の特徴について理解する。 2. グローバル化の原動力を理解する。	1. ◎ 2. ◎						1. ◎ 2. ◎			
現代日本社会事情	1. 現代日本に特徴的な社会経済問題を新聞・雑誌等の記事から多面的に取り上げる。 2. 切り抜き記事の読解を中心に、比較文化論的観点からの掘り下げも行う。	1. 時事問題の読解ができる。 2. 時事問題の背景・問題点について意見が言える。 3. 時事問題についての論述が日本語でできる。										
アメリカ経済論	90年代以降のアメリカ経済の基本動向について理解する。	学生がアメリカ経済についての一般的な知識を身につけ、加えて最近の金融危機について理解できるようにする。	◎	○					◎		◎	

国際投資論	国際投資とは、企業もしくは個人あるいは政府が国際間で行う投資のことである。国際投資は、利息や配当、あるいは値上がり益を得るために行われる証券投資と現地で会社を設立あるいは経営することを目的とした直接投資とに分類できる。このうち、本講義では、直接投資に関する事柄を取り上げる。	直接投資行動に関する基本的な知識を獲得する。それらがもたらすさまざまな正負の効果に関する基本的知識を獲得する。	◎			◎			◎		
ヨーロッパ経済論	1. ヨーロッパ統合の歴史を理解する。	1. ヨーロッパ統合の歴史を理解する。 2. ヨーロッパ統合について、自分の意見を述べることができるようになる。	1.◎ 2.◎	1.○ 2.○				1.○ 2.○			
中国経済事情	中国の経済や社会に関する最新の動向を解説する。	中国経済や社会の多様性と複雑性について理解し、問題点について説明できる。	◎					◎		◎	
東アジア社会経済論	東アジア諸国の経済発展によって、社会がどのように変化しているのか、特に中国の社会主義市場経済の発展と消費社会の分析を通して、解説する。	学生に東アジアの国や地域の経済と社会の変化メカニズムを理解し、基本的な理論と実証分析方法をマスターできるようにしてもらう。	◎	◎	○	○					
中国経済史	中国の現代経済史を中心に、社会主義計画経済の下での経済、社会状況を説明し、経済学理論と経済社会の発展との関連性を解説する。	学生は中国の現代経済社会の歴史的な変化の理解を通して、発展的な視点から経済学理論について学ぶことができる。	◎	○	○	○					
経済発展論	1. 生産と消費の拡大、経済活動(交易)の地理的拡大が著しく進み始めたイギリスの産業革命以降に生まれてくる近代経済システムの流れを概観し、経済発展に関する主要な理論を紹介する。(旧課程の前半部分) 2. 第2次世界大戦後に植民地から新たに独立した国々、いわゆる開発途上国の経済発展は遅々として進んでいない。この結果、先進国と途上国の格差は拡大し、世界の「貧困」問題は深刻さを増し、多くの地域紛争の原因になるとさえ指摘されている。こうした「格差」を生じてきた背景を第2次大戦後の世界経済の仕組み、そうした格差解消への世界的取り組み、途上国の経済発展を阻害している要因について理解を深める。(旧課程後半および新課程分)	1. 経済発展に関する主要な理論を学びつつ、経済発展の意味を考え、理解できる。(旧課程前半部分) 2. 第2次世界大戦後に独立したアジア・アフリカ諸国の開発・発展を阻害してきた要因について学び、そうした阻害要因を取り除いていくための国際連携の現状を理解する。(旧課程後半および新課程分) 3. 学生の参加(授業に関する意見質問の提出等)により議論を深める方式を取り入れ、自らの考えをまとめ、書き、発表する。	◎	◎	◎		○	◎	○	◎	
国際協力論	1. 21世紀における世界の重要な課題である貧困、食料、エネルギー、環境悪化、感染症、地域紛争の拡大といった地球規模の課題(Global Issues)についての現状を紹介する。 2. 地球規模課題の解決に向けた国際協力の現状と課題を解説する。 3. 以上の背景を踏まえ、今後日本が国際社会においてどのような貢献をしていくべきなのかを、政府開発援助(ODA)を中心に概観する。	1. 世界人口の約80%が住む開発途上国の現状を理解する。 2. そうした国々の貧困を初めとする深刻な課題に対し、先進諸国、開発途上国がどのように協力してゆくべきかについて考える。 3. 日本の途上国支援の現状を理解し、今後の国際貢献のあり方を理解する。 4. 以上の点について自らの考えをまとめ、書き、発表する。	△					○		◎	
演習I	国際経済に関する知識を増やすことによって、現在直面する多様な問題を解決するために必要な考え方やそのための能力を養うこと。	・学生は現実の国際経済について理解をし、それについての情報および関連するデータを収集することができる。 ・授業で取り扱うデータの特徴や問題点を理解し、経済分析に適切に利用することができる。 ・国際経済に関するレポートを作成する中で、レポートのテーマに合わせた分析ができる。	◎	◎	△	○					

演習II	国際経済に関する知識を増やすことによって、現在直面する多様な問題を解決のために必要な考え方・そのための能力を養うこと。	・学生は現実の国際経済について理解をし、それについての情報および関連するデータを収集することができる。 ・授業で取り扱うデータの特徴や問題点を理解し、経済分析に適切に利用することができる。 ・国際経済に関するレポートを作成する中で、レポートのテーマに合わせた分析ができる。	◎	◎	△	○					
卒業論文	卒業論文を完成させる。	大学生生活の集大成として、これまで学習した経済理論や分析手法を活用して、卒業論文を完成させる。	○	◎	◎	△	△	◎	△	○	△
GP項目別到達度判定方法(具体的に記述・箇条書き)											
総合的GP到達度判定方法(具体的に記述・箇条書き)											

例 卒業研究の達成度判定基準

発表内容に関する到達度判定	
判定する項目	判定

発表技法に関する到達度判定	
判定する項目	判定